

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所・食品環境研究センター・センター長/特任教授	氏名	若林 敬二
	研究分担者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	三浦 進司
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	雨谷 敬史
		所属・職名	食品栄養環境科学研究所・教授	氏名	市川 陽子
	発表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所・食品環境研究センター・センター長/特任教授	氏名	若林 敬二

講演題目	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【目的】食品環境研究センターは、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進を目指して、「食と健康」や「環境と健康」に関連した研究とともに地域の人達への教育・啓発活動を行っている。</p> <p>【成果】令和3年度に実施した主要な事業及び成果を以下に示す。</p> <p>■ 研究活動</p> <p>1. 地域における健康に資する食品および環境に関する情報提供、及び教育、啓発活動 静岡県特産の農水産物、加工食品等の機能性についてシステマティックレビューを行い、それらの成果を整理して消費者庁に届出を行い、地域の食品産業の活性化に寄与した。尚、茶カテキン、DHA・EPA、GABA、イヌリン、スルフォラファン、グルコシノレート等を含む30数件の機能性表示食品について既に消費者庁のHPに公開されている。更に、これら機能性表示食品の資料は、健康食イノベーション推進事業の支援のもとで作成した機能性食品素材データベースにまとめられ、本学が中心となり研究を進めている、その他の食品の機能性素材情報と共に本学健康食イノベーション推進事業HP上に公開されている。又、公開講座、講演会等を行い、地域における健康福祉の向上に資する教育・啓発活動を実施した。</p> <p>2. 2021年度 発表論文10報、学会発表4回</p> <p>■ 公開講座・講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> 若林敬二：機能性表示食品のシステマティックレビュー（SR）について、公益財団法人静岡県産業振興財団 総合食品学講座、静岡県立大学、2021年7月15日 若林敬二：食の健康に関わるエビデンスについて、健康イノベーション教育プログラム、オンライン講義、2021年10月9日 若林敬二：機能性表示食品の現状と課題および健康食創出について、健康イノベーション教育プログラム、オンライン講義、2021年10月9日 若林敬二：「がんに関する正しい知識で早期発見・早期治療ーがん検診の受診率向上ー」、がん予防講演会紙上発表、小山町・静岡県対がん協会共催、2022年1月28日 若林敬二：「がんに関する知識の普及・啓発ーがん検診の重要性ー」、がん予防講演会紙上発表、長泉町・静岡県対がん協会共催、2022年2月28日 <p>■ 教育・啓発活動</p> <p>各研究室又はグループが中心になり行った活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県立大学食品栄養科学部2021キッズ・ラボ 「食塩水で虹を作ろう!」、ディスカバリーパーク焼津天文科学館、2021年7月25日 <p>【今後の展望】センターの事業は、地域における健康と福祉の向上、および地域産業の推進に一定の貢献をしたものと考えられる。本県の農林水産物は極めて豊富であり、数・量ともに食材の宝庫、いわゆる「食材の王国」である。これらの食材には健康長寿への貢献が期待され、産業の進展および地域における健康福祉の向上の両観点から、更なる研究の推進と知識の普及が求められている。</p>